

3. 太田地区

太田地区 ワークショップ実施概要

テーマ	太田の魅力をもっと高めていく、地域活動のあり方を考えよう！		
実施内容	第1回	令和5年 10月 14日（土） 19時-21時	35人
		・太田地区の魅力を話し合おう！	
	第2回	令和5年 11月 11日（日） 19時-21時	31人
		・まちづくりの進め方を専門家と一緒に考えてみよう！	
	第3回	令和5年 12月 9日（土） 19時-21時	31人
		・太田地区でやってみたいと思うアイデアの準備をしよう！	
結果概要	<p>利便性が高く大学や企業との連携もできつつある一方で、自治会加入率の減少や担い手不足の課題や、自治会や地域団体が集まる情報共有の場である「懇談会」がストップしており、集まる機会を捉えなおしたいという課題に対して、下記の視点からワークショップを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動する人の横のつながりをつくる ・自分の住む地域の良いところを再認識し、前向きに太田地区のまちづくりに関わるきっかけになることを目指す <p>○地域活動・つながり・集いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動をうまく持続する仕組みを考えたい ⇒有償ボランティアや大学生などの人材確保！ ・様々な人が集まって、まちの課題解決を考える場を作る。 ⇒対話の場を今後も続ける！ ⇒こども向けイベントをきっかけにつなぎづくり！ <p>○若い世代・世代間交流・住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が緩く参加できるコミュニティ ⇒情報共有のプラットフォームづくり ・新規住民が地域活動に参画するきっかけづくり ⇒回覧板のアーカイブ化 ・やりたい人がやりたい活動をできるように（部活型） ⇒みんながやりたい事を知るためのアンケート ⇒楽しく活動ができるアイデアを集める！ <p>○こども・安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動の負担を減らして続けていきたい。 ⇒散歩を兼ねて見守りをするお散歩パトロール <p>こどもが思いっきり遊べる場所を増やしたい</p>		

	⇒高齢者が見守りながら小学校の校庭開放 ・こどもと高齢者がゆるくつながる企画 ⇒子育て世代が教える高齢者向けの SNS 勉強会
来年度以降 に向けて	下記の視点で、次年度に連合自治会で取り組んでいく ○対話の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加できるコミュニティのつながり ・自由に語り合えるような場を継続的にもつ ○やりたいことアンケート <ul style="list-style-type: none"> ・意識の違いやみんながやりたいことを把握する ・やりたい人がやりたい活動をできるようにする（部活型） ○情報発信の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報の周知や、知りたい情報へのアクセスがしやすい環境づくりの検討

【WSの様子：写真】



第1回資料

太田地区の魅力をもっと高めていく 地域活動のあり方を考えよう！

第1回

2023年10月14日（土） 19:15-21:15



地域活動の活性化に向けた ワークショップとは？



地域コミュニティの現状

【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（約52.9%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。



【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小
- 老人クラブ、子ども会などの地域組織の解散

※地域の力が低下して、自分たちだけで課題を解決することが難しくなっている。

※「安全・安心で住みよいまちづくり」への影響が懸念される。

そこで！！

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

■ワークショップの目標

○地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。



多様な主体が出合い・活動する場の提供や機会を創出する一助



目標「担い手の充実、活動への参画」

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[太田地区]

ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	太田地区の魅力を話し合おう！	・地域の良いところを改めて共有し、太田地区の良さを更に伸ばしていくために、できることを話し合います。
第2回	まちづくりの進め方を専門家と一緒に考えてみよう！	・まちづくりや地域自治の専門家から話題提供してもらい、テーマごとに分かれて、今後の取組アイデアを話し合います。
第3回	アイデアの具体化 & 参加者みんなで意見交換！	・第1、2回で考えたアイデアを実現するための、方法やまちづくりの体制などについて話し合います。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

本日のプログラム

太田地区の魅力を話し合おう！

19:15- 開会挨拶・ワークショップの説明など

19:30- 自己紹介・話し合いの準備運動（アイスブレイク）

19:50- ワーク①

太田の魅力的なところ、もっとこうなったらいいなと思うところを話し合おう

20:25- ワーク②

「こういう太田になってほしいな」「こういうことをしたいな」等の思うことを話し合おう

20:55- 発表・意見交換

21:10- 今後に向けて・閉会挨拶



グループに分かれて話そう

自己紹介

①名前

②所属団体等と
活動内容

③グッドニュース
バッドニュース

涼しくなって
すごしやすい！



話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
 (話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



グループでの話し合い

- ①太田の魅力や課題について話し合おう
- ②太田がもっと楽しくなる未来を考えよう

話し合いのゴール（目的）

皆さんの思う太田の好きな場所、自慢の活動などの魅力や、こういう場所が欲しい！こういう活動がない。というような課題に加え、その理由をみんなで共有し、将来、太田がもっと楽しくなれるような取組アイデアを考えます。

→次回は、皆さんから出た好きな場所や活動をより楽しくし、課題になっていることを解決できるために、ほかのまちの取組アイデアなども参考に話し合いを行います。

次なる
茨木へ。
茨木は、次がある。

ワーク①：太田ってどんなところ？

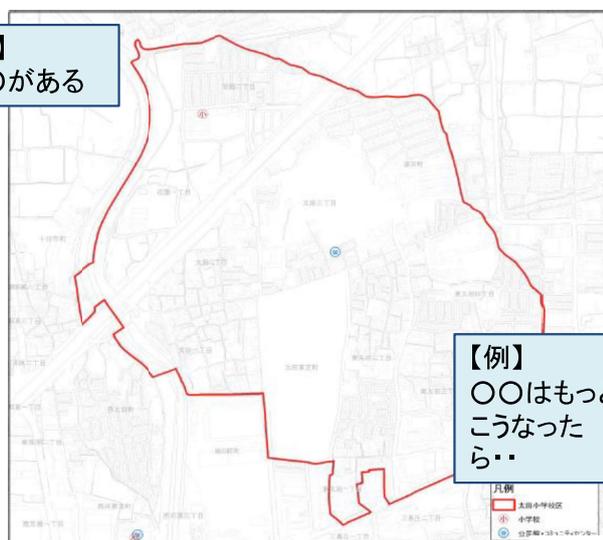
太田地区の「魅力的なところ」や「課題」を教えてください

地図も見ながら話し合おう！

思いつくものがなければ、「魅力カード」や「課題カード」に書いている内容から連想される魅力を話してみましよう

皆で何で魅力的なのか、なんで課題だと思うのかといった理由についても話し合いましよう

【例】
〇〇がある



【例】
〇〇はもっと
こうなっ
たら..

次なる
茨木へ。
茨木は、次がある。

魅力カード

いつも集まる場所 	昔から変わらないなど 感じる風景 	こどもの遊び場 	公園 
お祭り 	催し 	伝統・文化・言い伝え 	身近に感じる自然 
移動や買い物の利便性 	こんな人がいるよ 	美しい風景・場所 	くつろぎの場所 
子育て 	防災・防犯活動 		

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

課題カード

生活マナー・ モラル 	住環境の問題 	地域活動団体の 担い手不足 	子育てや 教育の問題 
空き家の増加 	防災・防犯 	こんな場所があったらいいな (今はないけど・・・) 	交通安全 
コミュニティ(つながり) の希薄化 			

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

ワーク②： 地域の将来について考えてみよう！

「魅力」や「課題」をふまえて、将来の太田は・・・

- ①魅力を磨いて、もっとこうなってほしい
- ②もっとこんなことしたい
- ③こうなったらいやだな

と、思うことを教えてください！

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

- ①太田ってどんなところ？
- ②将来こうなって欲しいについて

1グループ3分程度でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、
話し合いの材料を用意します。

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

次回（第2回）予定

今日話し合った、太田地区の魅力と課題を踏まえ、

まちづくりの進め方を
専門家と一緒に考えてみよう！

2023年11月11日（土）
19時00分～21時00分



太田地区では、「太田の魅力をもっと高めていく、地域活動のあり方を考えよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年 10 月 14 日(土)に開催した第1回のワークショップでは、6つのグループに分かれて2つのワークを行いました。

ワーク 1 太田地区の魅力と課題を見つけよう！

ワーク1では太田地区の地図を見ながら、太田地区の魅力と課題を出し合いました。各グループでたくさんの魅力と課題が出され、模造紙が付箋で埋まるグループもありました。

「大型スーパーもあり利便性が高い」「治安がいい」「子育てしやすい」などの意見が各グループで共通して魅力としてあがり、「地域の担い手をどう増やすか」「通学路が危険」「世代間のギャップがある」「IT 化が遅れている」といった意見が共通した課題としてあがりました。



第1回 実施概要

日 時：2023.10.14 (土)

19:15~21:15

会 場：太田公民館

参加者数：35人

プログラム

- 1：会長挨拶
- 2：ワークショップ趣旨説明
- 3：参加者自己紹介
- 4：最近あった、良かったこと・悪かったこと（アイスブレイク）
- 5：ワーク①：太田地区の魅力と課題を見つけよう
- 6：ワーク②：太田地区がもっと楽しくなる未来を考えよう
- 7：グループ発表（全体共有）

ワーク 2 地域の将来について考えよう！

ワーク2では、ワーク1の議論を踏まえて、①魅力を磨いてもっとこんなまちにしたい②課題を解決してこんなまちにしたい、という意見を出し合い、地域の将来がどうなったらいいか、どうなって欲しいかを考えました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	魅力	課題	将来
1	<ul style="list-style-type: none"> ○班会をやっていろんな意見を吸い上げている！ ○子育てしやすいまち ○スポーツの場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化 ○見守りの負担 ○ちょっと立ち寄れる場が少ない ○IT化が遅れている 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の見守りに保護者と地域の先輩(高齢者)の方と連携してできれば ○小さなイベントを増やす ○あいさつをする、声をかけるなど、やさしい気持ちを育む ○通学路の安全確保 ○子どもの集いの場が必要 ○地域活動のIT化
2	<ul style="list-style-type: none"> ○公園が多い ○太田神社、地藏盆、西国街道などの歴史 ○子ども会が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化、人手不足で情報伝達ができなくなっている ○暗い道が多くて防犯面の懸念 ○若い人があまり入ってこない地域がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○担い手の若返りを図りたい ○若い人が気軽に発言できる環境にしたい！ ○子どもが集まれる場が欲しい
3	<ul style="list-style-type: none"> ○治安が良い ○安威川が近く自然が多い ○太田知恵の和で話し合う場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代は忙しく、地域のことを考えたくても考える時間すらない ○自治会活動の人手不足 ○集まるのが大変 ○子どもの見守り活動を朝にしており、昔は帰りの夕方もあったが、今は無いので心配 	<ul style="list-style-type: none"> ○誰でもできるスリム化が必要 ○顔の見える関係が必要 ○帰り道も子どもの見守り当番ができるといい ○配布資料をLINEでもらえたら
4	<ul style="list-style-type: none"> ○大型スーパーがあり便利 ○自然が多い ○歴史がある ○学生街になった 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを取る場が少ない ○自治会に加入してもらえない 	<ul style="list-style-type: none"> ○世代交代が必要 ○住みやすいまちでありつづけて欲しい ○デビューしやすいタイミングをつくる
5	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て環境がよく住みやすい ○通安協で通学路の安全を見ている ○商業施設があって生活がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども会がなくなった ○自治会の役員、担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ○世代間交流をしていきたい ○担い手・地域活動のスタイルは、今の時代にあったカタチを考えていきたい
6	<ul style="list-style-type: none"> ○西国街道などの歴史がある ○マンションなどで人が増えてきている ○学校が多く活気がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動に対して参加者が減少している ○新しく入って来る若い世代と昔から住まれている方の地域活動に対する考え方のギャップ ○ゴミ出しなどのマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の施設や事業者とも課題などを話し合う場があるといい ○やりたい活動のアンケート調査、自治会活動のマニュアル化など

次回ワークショップは11月11日(土)。まちづくりの専門家をゲストに招き、事例紹介や話題提供をいただいた上で、アイデアを深めていくワークショップを行います。

第2回資料

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[太田地区]

太田地区の魅力をもっと高めていく 地域活動のあり方を考えよう！

第2回

2023年11月11日（土） 19:00-21:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[太田地区]

ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	太田地区の魅力を話し合おう！	・地域の良いところを改めて共有し、太田地区の良さを更に伸ばしていくために、できることを話し合います。
第2回	まちづくりの進め方を専門家と一緒に考えてみよう！	・まちづくりや地域自治の専門家から話題提供してもらい、テーマごとに分かれて、今後の取組アイデアを話し合います。
第3回	アイデアの具体化&参加者みんなで意見交換！	・第1、2回で考えたアイデアを実現するための、方法やまちづくりの体制などについて話し合います。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

まちづくりの進め方を 専門家と考えよう！

19:05- 開会挨拶・前回の振り返り

19:15- 色紙ゲーム

19:20- アイスブレイク「無人島に持っていくなら？」

19:35- 講演（谷 亮治 氏：京都市まちづくりアドバイザー）

20:05- テーブルワーク

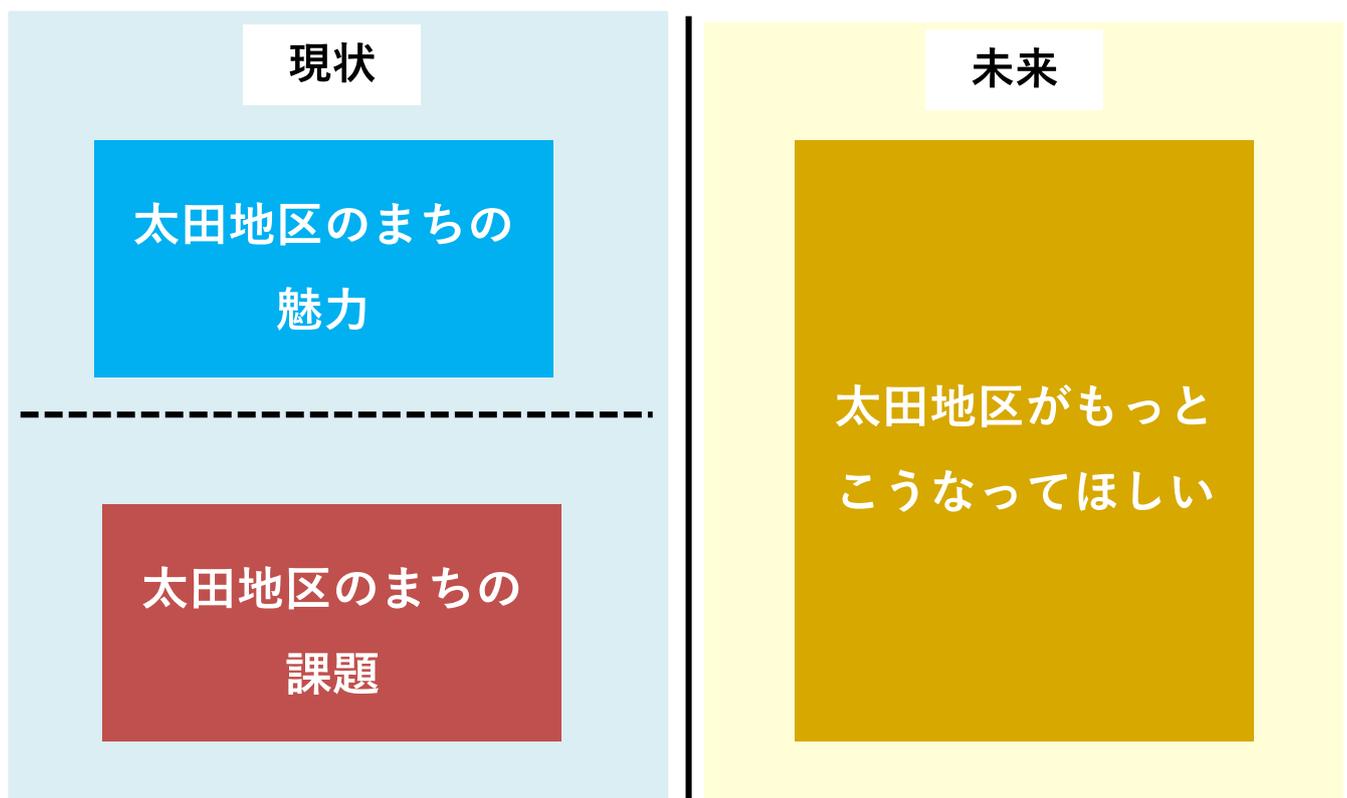
講演や事例紹介を踏まえて、やってみたい、取り入れたいアイデアを話し合おう

20:40- 発表・講評

21:00- 今後に向けて・閉会挨拶



前回の振り返り



太田地区の「現状」と「未来」の整理（1班）

太田地区のまちの魅力

- 【地域活動】 班会をやって、いろんな意見を吸い上げていってる
- 【行事】 大掃除に参加する人が多い、大掃除と安否確認を兼ねている
- 【利便性】 イオン、大学ができた、買い物も便利
- 【子ども】 公園等もあり、スーパーも多く便利
- 【自然環境】 安威川リバーサイドランニングコース

- 【子ども】 子ども会に人が集まらない、2自治会合同だったりする
実は大人がつぶしてしまっているかも
PTAがなくなった
見守りの負担がある
- 【地域活動】 IT化が遅れている、紙ばかり
- 【安全・安心】 西河原交差点が混む、通行量が増えて危ないところも増えた

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【地域活動】 あいさつをきちんとする、声をかけあうことなどのやさしい気持ちが大事、それが防災、交流、見守りにもつながる運営の負担を軽減する、世話役をしなくてもいいよという形で募集
地域のIT化、回覧板をライングループでやりたい、賃貸の人や若い人に情報が届いていない
- 【安全・安心】 ボランティアの人のやりがいを大切に、ありがとうの色紙をわたすなど、敬老会ではやれている
コミュニティバスなどの高齢者の移動
- 【子ども】 子ども会に入りたい子どものためにあり方を考えたい、楽しく子どもたちを集めたい
子どもの集いの場、子どもが自由に集まれる場、学習の場としても
- 【集いの場】 身近で小さなイベントをできないか、公園で将棋など、小さいイベントだからこそ参加しやすい

太田地区の「現状」と「未来」の整理（2班）

太田地区のまちの魅力

- 【行事】 ふるさとまつり、大学祭、あいさつまつり、敬老会
- 【子ども】 公園が多い三角公園、スポーツ広場がある
- 【歴史】 太田神社、安楽寺のもちつき、地藏盆、西国街道、城下町
- 【利便性】 買い物など便利
- 【自然】 桜が綺麗、適度に自然が残る

- 【地域活動】 高齢化、人手不足で情報発信
- 【利便性】 商業施設が足りない
- 【安全・安心】 近隣道路の渋滞
昔ながらの細い道が多い
- 【子ども】 幼稚園の受け入れ人数が少ない

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【地域活動】 横のつながりを作って、地域活動の活性化をしたい
- 【自然】 東芝の桜並木を復活させたい
- 【世代間交流】 委員会の若返りも必要、自治会の再編・統合、若い人も住んできてるので、各イベントの委員会の若返りをしたい
- 【集いの場】 若い人が気軽に発言できる環境に保育園通わせてる世帯も気軽に地域（近所）とつながれる環境があるといい
- 【子ども】 就学前の子どもを育てるうえの環境がもう少し充実してほしい
児童館がない
子どもが集まれる場が欲しい

太田地区の「現状」と「未来」の整理（3班）

太田地区のまちの魅力

- 【地域活動】 コミュニケーションが取れやすい
- 【安全・安心】 防災会、自治会がしっかりしている、犯罪者が少ない
- 【歴史】 西国街道、太田神社、紫式部の座った石など
太田知恵の和の活動
- 【利便性】 買い物が便利
- 【自然】 安威川が近く、程よく田舎

-
- 【地域活動】 会長の仕事が負担、自治会活動人手不足、人を集めるのが大変
 - 【安全・安心】 通学で朝は見守りをしているが、帰りは見守りが無い
道が狭く、車通りが多いところもあり、信号がない通学路が心配
 - 【世代間交流】 若い人は考える時間すらない

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【地域活動】 みんなが無理ならやめることも考える、やり方をどんどん変えて、次の世代につなげていく
配布資料をラインなどの電子化できるといい
誰でもできるようなスリム化が必要
- 【つながり】 顔の見える関係が大事、それが前に進めることにつながる
- 【安全・安心】 通学路の標識があるといい
帰り道も見守り当番ができるといい、義務感でやるのではないようにしたい
通学路のトンネルをもっと明るくしてほしい
顔が見えないのは不安、つながりをつくりたい

太田地区の「現状」と「未来」の整理（4班）

太田地区のまちの魅力

- 【自然】 田んぼがあるなど自然が多い
- 【歴史】 藤原鎌足の墓がある、立派な門がある家がある
- 【利便性】 商業施設があって買い物には困らない、人が増えた、学生街になった、ふるさとまつりで大学生などの若い人が多くなった

-
- 【子ども】 場所によって小学校が遠い、公園に時計がない、子どもに関わる団体が少ない、子ども会が休止状態
 - 【地域活動】 自治会役員の交代が激しい、高齢化、自治会の高齢化、加入してもらえない
 - 【集いの場】 コミュニケーションをとる場がない、飲み屋が少ない、集まれる場がない、高齢になった時が心配

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【世代間交流】 近くでつながりを増やしていくと参加しやすい、輪番制のところと固定のところもありどっちがいいか、ハロウィンイベントを近所で企画中
デビューしやすいタイミングをつくるのが大事
- 【利便性】 住みやすいまちであり続けて欲しい、高齢者に優しいまち、子どもが出て行ってしまおうので、子どもが残ってくれるようなまちに

太田地区の「現状」と「未来」の整理（5班）

太田地区のまちの魅力

【子ども】大学、高校ができて、雰囲気が明るくなった、小さい子どもも意外と増えている、若い世帯が入ってきている

【利便性】商業施設ができて日常生活が便利になった

【地域活動】担い手不足、自治会の役員の不足

【世代間交流】年齢の壁がある

【子ども】PTAがないとボランティアの保険に入れない、PTAが任意団体で負担が大きい
コロナ禍で活動が止まって打撃だった子ども会がなくなった
子どもの遊び場がなくなっていく
学校との協力関係が築きにくい

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

【世代間交流】昔は地区運動会などで世代間交流が多かった、小・中学校を巻き込んだお祭り、世代での価値観の違いを埋めたい
ふれあいあいのつどい、どんどやき、わいわいカーニバル

【地域活動】今のカタチにあった地域活動のスタイルにしたい、役員も一年交代など

太田地区の「現状」と「未来」の整理（6班）

太田地区のまちの魅力

【歴史】天皇陵、西国街道など

【施設】学校が多くて活気がある、文教施設、商業施設、医療福祉施設が備わっている、マンションや新しい分譲地もできて人が増える要素が多い、全体に環境が良く子育てしやすい

【地域活動】穏やかな人が多い、旧住民と新住民が仲良く生活できている

【世代間交流】新しく入って来る若い世代と昔から住まれている方の地域活動に対する考え方のギャップ、高齢化による若い世代の負担感の増加、自治会内の高齢化が進み、何事にも反対意見が多い、隣人との関係希薄化

【利便性】ゴミ出しのマナー、路駐が多い、名神下のトンネルが暗い

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

【つながり】地域の施設や事業所と今かかえている課題を話し合う場をつくりたい、将来につながる話し合いがしたい

【地域活動】地域行事をもっと活性化するため、やりたい！！やってほしい行事をアンケート調査
公民館講座講習を若い人が参加したい項目を増やしたい
部活動の指導者、教職員の負担軽減
趣味や技術を活かせる場を増やしていきたい
自治会の後継者を育成したい
自治会不参加の方をできるだけ減らしたい
お祭りはもっとすずしい時期に
自治会活動のマニュアル化

【世代間交流】若い世代の世帯もある程度地域活動に理解を示せるような体制づくり
高齢者と若い世代の交流できる場
高齢者も若い人も、一緒に活動できるイベント等を企画したい

【安全・安心】防災に対する意識を高めたい

話し合いの準備運動 (アイスブレイク)

色紙ゲーム

いくつかの質問をしますので、
色紙を挙げてお答えください



太田地区に何年住んでる？

30年以上

20年以上30年未満

10年以上20年未満

10年未満



今日話し合いたいテーマは？

①地域活動・つながり・集いの場

②若い世代・世代間交流・住環境

③子ども・安全・安心

＼その他に話し合いたいことがある場合は両手を挙げてください／

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

今日話し合いたいテーマは？

1・2班

①地域活動・つながり・集いの場

3・4班

②若い世代・世代間交流・住環境

5・6班

③子ども・安全・安心

＼その他に話し合いたいことがある場合は両手を挙げてください／

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

グループで話し合いの準備運動



無人島に2つものを持っていくとしたら？
それを選んだ理由はなんですか？

※多数決は禁止、話し合いで合意
※どんな無人島かという制限はありません

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

グループに分かれて話そう

自己紹介

①名前

②所属団体等と
活動内容

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。

話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
（話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です）



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



発表・意見交換

各グループから、話し合った結果を報告

1 グループ3分程度でお願いします

次回は今回の発表内容を踏まえて、
話し合いの材料を用意します。



次回（第3回）予定

今日話し合った、太田地区でやってみたい、取り入れ
たいアイデアを踏まえ、

アイデアの具体化 & 参加者みんなで意見交換！

2023年12月9日（土）
19時00分～21時00分



太田地区では、「太田の魅力をもっと高めていく、地域活動のあり方を考えよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年11月11日(土)に開催した第2回のワークショップでは、講師の講演を聞いた後に、6つのグループに分かれてワークを行いました。

講演

まちづくりの進め方を専門家と一緒に考えよう！

第2回は谷亮治氏(京都市まちづくりアドバイザー:京都市を拠点に、様々な地域のまちづくりを支援している)をゲストに招き、第1回の議論を踏まえた話題提供や事例紹介をしていただきました。

「まちづくりの組織づくりとして、これまでの上下関係がはっきりした“ピラミッド型”からフラットにつながる“ネットワーク型”へ」「個人として参加し、やりたいことを表明できる対話の場“まちづくりプラットフォーム”」などのアイデアを、事例を交えてお話しいただきました。



第2回 実施概要

日時：2023.11.11 (土)

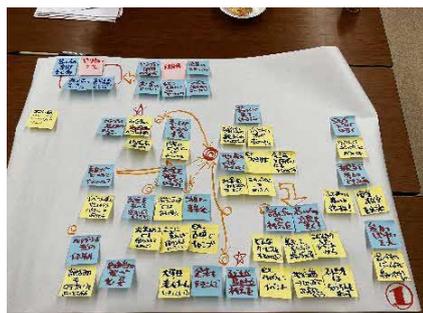
19:05~21:05

会場：太田公民館

参加者数：31人

プログラム

- 1：前回の振り返り
- 2：無人島ゲーム(アイスブレイク)
- 3：講演(谷 亮治 氏：京都市まちづくりアドバイザー)
- 4：ワーク：太田地区で取り入れたいアイデアを話し合おう
- 5：グループ発表(全体共有)



ワークでは、講演や事例紹介を踏まえて、「①地域活動・つながり・集いの場」「②若い世代・世代間交流・住環境」「③子ども・安全・安心」の3つのテーマに分かれて、アイデアを出し合いました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

テーマ	グループ	話し合ったアイデア
①	1	1. 若い人の意見を聞く、話し合いの機会を生む仕掛け ○子どもが集まれる機会、親子で参加できる場！ 2. 事業を継続させるための仕組み・工夫 ○活動の事業化 ○高齢者への生活支援をセミプロ集団として、地域の人に取り組む ○お金を発生させる仕組みづくり(お金を払ってでも参加してくれるサービス)
	2	1. 気軽につながる場や機会をつくろう！ ○既存の活動に合わせたつながる機会 ○いろんな分野のバザー的な商品交換会 2. 課題解決を考える場を設定したい！ ○様々な立場の人が集まり、課題や問題点を出し合い、解決法を考える場 ○自分の趣味や特技を生かせる場 ○場／組織の在り方の見直し ○やりたいことの実現
②	3	1. 若い人と地域がつながるきっかけを生む場を大事にしよう！ ○既存の活動をもっと活用して参加しやすくするための情報発信や仕組み 2. 世代間の意識や価値観を知る機会をつくろう！ ○アンケート調査の実施 3. ネットワーク型組織の導入を考えよう！ ○LINE のオープンチャットの活用 ○やりたいことの部活化
	4	1. 今ある活動を参加しやすくする工夫をしよう！ ○子どもも参加しやすくして世代間交流を促す(お菓子教室、工作イベント、竹馬や将棋などの昔遊び) 2. みんながやりたいことを把握するためのアンケート調査 3. 新しい部活を作ってみる(地域の特性を活かした田植え、畑、フリマ)
③	5	1. 見守り活動の見直し ○見守りの負担軽減(シルバー人材センターへの委託など)や見守りが必要なポイントの洗い出し 2. こどもの遊び場の使いこなし ○子どもがのびのびと遊べる環境を大事にして、使いこなす
	6	1. こどもの活動をもっと参加しやすくしよう ○子ども会に参加していない人でも、誰でも参加できるようなイベント ○気軽に参加できるスポーツ活動の推進 ○子どもが気軽に入ったり活動ができる場(公民館のコミセン化など) ○大学生の参画 ○こどもの見守りの体制づくり(シルバー人材センターの活用やスクールバスの巡回など) 2. 安全で安心できる地域づくり ○ごみ問題の改善 ○移動手段

次回ワークショップは12月9日(土)。今回のワークで出たアイデアをさらに深めて、ワークシートに具体化するワークショップを行います。

第3回資料

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[太田地区]

太田地区の魅力をもっと高めていく 地域活動のあり方を考えよう！

第3回

2023年12月9日（土）19:00-21:00



地域活動の活性化に向けたワークショップ

[太田地区]

ワークショップ全3回について

	各回のテーマ	各回の目的
第1回	太田地区の魅力を話し合おう！	・地域の良いところを改めて共有し、太田地区の良さを更に伸ばしていくために、できることを話し合います。
第2回	まちづくりの進め方を専門家と一緒に考えてみよう！	・まちづくりや地域自治の専門家から話題提供してもらい、テーマごとに分かれて、今後の取組アイデアを話し合います。
第3回	やってみたいと思うアイデアの準備をしよう！	・第1、2回で考えたアイデアを実現するための、方法やまちづくりの体制などについて話し合います。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的としています。



本日のプログラム

やってみたいと思う
アイデアの準備をしよう！

- 19:00- 開会挨拶・前回の振り返り
- 19:10- アイスブレイク「バースデーライン」
- 19:20- テーブルワーク①
「具体的にしていきたいアイデアを整理しよう」
- 20:00- テーブルワーク②
「ワークシートにまとめよう！」
- 20:35- 発表
- 20:55- 今後に向けて・閉会挨拶



第2回ワークショップのまとめ

太田地区のまちづくりアイデア を出し合いました

- 京都市まちづくりアドバイザー谷亮二さんの講演
- 太田地区で取り組みたいアイデア

を話し合いました。



第2回ワークショップのまとめ

3つのテーマ

①地域活動・つながり・集いの場

②若い世代・世代間交流・住環境

③こども・安全・安心



取組アイデアの整理（1・2班）

①地域活動・つながり・集いの場

【問いかけ】

～地域でつながりを持ち続けるには、
どんな仕組みがあればいいだろう～

①地域活動・つながり・集いの場（1班）

【やりたいこと】

1. 若い人の意見を聞く場、話し合いを生む仕掛けをつくりたい
2. 事業を上手く持続するための仕組みをつくりたい

【アイデアの種】

1. 若い人の意見を聞く、話し合いの機会を生む仕掛け
 - こどもが集まれる機会、親子で参加できる場！
 - ・ハロウィンイベントで地蔵盆に合わせてお菓子をもらえる、提灯で飾り付けする
 - ・参加しやすい工夫として、食べ物、ゲームなどを組み合わせる
 - ・ふれあいの集いの復活
2. 事業を継続させるための仕組み・工夫
 - 活動の事業化
 - お金を発生させる仕組みづくり
 - ・古墳でキャンプ！
 - ・お金を払ってでも参加してくれるサービス（有償ボランティア、備品のレンタル等）
 - ニーズと活動とのマッチング
 - 民間事業者との連携
 - 高齢者への生活支援サービスを、地域の人がセミプロ集団として取り組む

①地域活動・つながり・集いの場（2班）

【やりたいこと】

1. 様々な立場の人が集まり、課題や問題点を出し合い、解決法を考える場
2. 気軽につながれる機会の創出

【アイデアの種】

1. 課題解決を考える場を設定したい！
 - 様々な立場の人が集まり、課題や問題点を出し合い、解決法を考える場
 - 自己実現につながるような、自分の趣味や特技を生かせる場
 - 場／組織の在り方
 - ・ネットワーク型は難しく、活動の核となるまとめ役は必要では
 - ・外から自然発生的に、人が参加してくれるような形
 - やりたいことの実現
 - ・物（農作物・工業製品）などを作るコミュニティ組織
 - ・音楽祭
2. 気軽につながる場や機会をつくろう！
 - 既存の活動に合わせたつながる機会
 - ・読書ルームを作る
 - ・ラジオ体操の時間をずらす（8時～30分間、場所は公園など）
 - ・集会所で世代間、地域間の交流
 - ・あいさつ運動（12月・8月）
 - いろんな分野のバザー的な商品交換会
 - ・ex. キャンプ、スポーツ、音楽

②若い世代・世代間交流・住環境

【問いかけ】

～若い世代の力を地域につなげ、
生かすためにできることは？～

②若い世代・世代間交流・住環境（3班）

【やりたいこと】

1. 若い世代がゆるく参加できるコミュニティであってほしい
2. 世代間の意識や価値観をときほぐしたい
3. ネットワーク型組織の良いところを取り入れてみたい

【アイデアの種】

1. 若い人と地域がつながるきっかけを生む場を大事にしよう！
 - 既存の活動をもっと活用して参加しやすくするための情報発信や仕組み
 - ・清掃活動
 - ・るんびに広場（子育て支援、一時預かりの場）
 - ・マンションの子育てサークル
2. 世代間の意識や価値観を知る機会をつくろう！
 - アンケート調査の実施
 - ・世代間の意識の違いを把握する（子育て世代や高齢世代の違いなど）
3. ネットワーク型組織の導入を考えよう！
 - LINEのオープンチャットの活用
 - ・LINEだと、上下関係なくフラットに話し合えるので、意見を出しやすい
 - やりたいことの部活化

②若い世代・世代間交流・住環境（4班）

【やりたいこと】

1. 部活型でやりたい人が積極的に活動してみたい
2. 地域内や世代間で顔見知りになれるきっかけ・機会を増やしていきたい

【アイデアの種】

1. 新しい部活型の活動をやってみる
 - ・地域の特性を活かした田植え、畑、フリマ
 - ・公園・広場がたくさんある
 - ・みんながやりたいことを把握するためのアンケート調査をする
 - ・活動に対して有志を募る
2. 今ある活動を参加しやすくする工夫をしよう！
 - こどもなど若い世代も参加しやすくして世代間交流を促す
 - ・お菓子教室：予約を平日朝以外にも気軽にできるようにする
 - ・工作イベント：趣旨を変えてこどもも参加できるようにする
 - ・竹馬や将棋などの昔遊び
 - 活動の負担の軽減
 - ・やらないといけないうこと（地域の清掃など）はライトに参加できるようにしたい
 - ・執行部とそれ以外の班を作って会長のプレッシャーを減らせないか

取組アイデアの整理（5・6班）

③こども・安全・安心

【問いかけ】

～こどもたちがのびのびと育ち、
安全安心に暮らすためにできることは？～

③こども・安全・安心（5班）

【やりたいこと】

1. 見守り活動は大事なので維持しつつ、負担を減らしていきたい
2. こどもがのびのびとできる、遊び場の環境を考えていきたい

【アイデアの種】

1. 見守り活動の見直し

- 見守りの負担軽減
 - ・シルバー人材さんへの委託
- 見守りが必要なポイントの洗い出し
 - ・通学路に危ないポイントがある（坂道やショートカットの細い道などが危険）
 - ・危ないポイントを洗い出して、重点的な対応をしてはどうか

2. こどもの遊び場の使いこなし

- 遊べる場に関する情報発信
 - ・太田東芝公園
- マンションの人との協力
 - ・マンションの公園やキッズルームを使わせてもらう（知り合いがいたときに使わせてもらっていた）

通学路をみんなで歩いて危険のチェックをするなど！

③こども・安全・安心（6班）

【やりたいこと】

1. こどもに関する活動やスポーツを、親の負担によらずに誰でも参加できるようにしたい
2. ごみ問題や移動手段の問題からすこしでも良くして、安全安心なまちにしたい

【アイデアの種】

1. こどもの活動をもっと参加しやすくしよう

- こども会に参加していない人でも、誰でも参加できるようなイベント
- スポーツ
 - ・気軽に参加できるスポーツ活動の推進（親の負担なくこどもが参加できるような）
 - ・親の手伝い無しでやりたいこどもが参加できる仕組み
- こどもが気軽に入ったり活動ができる場（公民館のコミセン化など）
- 大学生の参画（大学生との連携による、こどもサークルをつくる）
- こどもの見守りの体制づくり（シルバー人材の活用やスクールバスの巡回など）

2. 安全で安心できる地域づくり

- ごみ問題（大型ごみの盗難や外国人の不法投棄）の改善
 - ・マナー違反の是正（ルールの見直しやカメラの設置など）
- 移動手段
 - ・コミュニティバスやスクールバスで、こどもや高齢者の移動の安全確保
- 連合自治会未加入者へも防災等に関する情報発信

意見を見ていくと・・・

【キーワードの抜粋】

- 話し合いを生む仕掛け
- 課題解決を考える場
- 気軽につながれる機会
- ゆるく参加できるコミュニティ
- 地域内や世代間で顔見知りになれるきっかけ・機会

語り合い、つながれる、対話の場

= “まさに今日のような対話の場” が大事！

グループワーク①

①前回出たアイデアを踏まえ
具体的にしていきたいアイデアを整理しよう！

①地域活動・つながり・集いの場

②若い世代・世代間交流・住環境

③こども・安全・安心

話し合いで大切にしたいこと

1. みんなの話は反対せずフムフムと聞こう
2. 自分の話は簡潔にサクサクと話そう
3. 思っていることをドンドン出そう
4. みんなで力を合わせてワイワイ盛り上がろう
5. 楽しくニコニコと参加しよう

グループにはファシリテーターと呼ばれる、話し合いのサポート役がいます。
 (話をしやすい場にしたり、整理したり、より良い話し合いを促す人です)



話し合いで大切にしたいこと

合意形成の場ではありません

アイデアを出し合い方向性を見出す場

役割や権限・責任は
一旦横に置いておきましょう！



グループに分かれて話そう

自己紹介

①名前

②所属団体等と
活動内容



グループワーク②

①で決めたアイデアについて
ワークシートにまとめよう！

実際にアイデアを実現するためには、
どうしているかな??

○班 アイデアワークシート	
活動のタイトル	
目的	
(既存の取組場合) 取組の良いところ／課題	
(新しい取組の場合) 資源の良いところ／課題	
具体的な活動内容 (やること)	
誰がやる？	
最初の一步は！	
スケジュール	
参加した皆さんからの メッセージ	

発表

各グループから、話し合った結果を報告

1 グループ3分程度でお願いします

全3回のワークショップに参加いただき、
ありがとうございました！
皆さんで出し合ったアイデアを
とりまとめて地域にお渡しします。

地域の中でも小さなアイデアを
出し合ってよりよい活動づくり・
新たな場づくりに繋げていきましょう！



太田地区では、「太田の魅力をもっと高めていく、地域活動のあり方を考えよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年12月9日(土)に開催した第3回のワークショップでは、6つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク① 具体的にしていきたいアイデアを整理しよう！

第3回は第1回、第2回の意見交換を踏まえて、アイデアの具体化に向けた意見交換をしました。

「①地域活動・つながり・集いの場」「②若い世代・世代間交流」「③子ども・安全・安心」の3つのテーマに分かれて、取組のアイデアを話し合いました。



第3回 実施概要

日 時：2023.12.9(土)
19:00~21:00
会 場：太田公民館
参加者数：31人

プログラム

- 1：前回の振り返り
- 2：バースデーライン（アイスブレイク）
- 3：テーブルワーク①
「具体的にしていきたいアイデアを整理しよう」
- 4：テーブルワーク②
「ワークシートにまとめよう」
- 5：グループ発表（全体共有）



ワーク ② 具体的にやってみたいアイデアを整理し、ワークシートにまとめよう！

○各グループの話し合い内容（抜粋）

テーマ	グループ	取組名称	活動の目的	具体的な内容	誰がやる？	最初の一步
①地域活動・つながり・集いの場	1	地域の人でこどもの習い事をみる	<ul style="list-style-type: none"> ・どこのこどもにも来てもらえるようにする ・習い事を選択肢を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・手頃な価格で習い事ができるように工夫する 例) 茶道や囲碁など 	<ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアで人材確保 ・大学生などもソフトを組んで参加してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは地域人材・スキルの発掘のためのアンケート
		地域全体で楽しめる地蔵盆 ～こどもがウロウロできる夜があってもいいんじゃない？～	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもを通じた繋がりがづくりの取組が必要→若い人の意見を聞く場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地蔵盆を地域のこども達に開放する ・自転車でこどもたちがあちこち巡れるように地蔵盆マップを作成する ・企業の協賛や自治会の予算を活用する ・夜の映画会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で協力してやっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは来年からやってみる
②若い世代・世代間交流・住環境	2	バトンをつなぐ ～地元が好っきゃねん～	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で顔見知りを作る ・最終的には地域のために、地域への恩返し 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動はコミュニケーションの場になっている ・自分たちでこういう場(ワークショップ)を作る ・面白いと感じさせる ・新しい人を入れる ・地域活動にメリットを！ ・イベントを継続する周知が大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず自分たちがやる！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・きっかけを作る ・まずは来てもらう周知から行う
		情報のプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のアーカイブ化をする ・子育て世帯が情報を得る場所をつくる ・新規住民が地域活動に参画するきっかけをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧板のアーカイブ化(PDF化していつでも見れるようにする) ・SNSの勉強会 ・文化展の様子をSNSで情報発信 ・こどもたちが高齢者に教える勉強会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィキペディア方式(みんなで編集できるかも) ・SNSはこどもが得意 →学校の部活などに運営を依頼してみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの地域も参考にできるかも ・SNS勉強会をしてみる →世代間交流になる ・ハッシュタグを作って、みんなで情報共有
③こども・安全・安心	3	太田地区としてみんながやりたいことを知るためのアンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな世代のニーズを把握する ・地域活動の人材発掘 ・部活型の公園清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの取り方や文面の工夫をする ・ラインで情報を流してもらったりする ・やりたいことを募集する ・アンケートだけでは趣旨が伝わりにくいため、アンケートだけでなく、語り場の機会を設ける ・清掃活動+αで焼き芋やスタンプラリーと一緒にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・連合全体として知っておきたいので、アンケートのまとめ作業を連合でやってみようか。 ・結果をみんなで議論 ・やりたい、応援したい人が集まったらスタート！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・四月の連合会で会議、ミニワークショップ ・冬の間に準備を進める
		こどもの遊び場を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが思いっきり遊べる場所をつくる ・こどもたちの通学時の安全を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校庭の開放 →さくらクラブでは校庭を使うクラブを立ち上げる →開放している時間だけ、警察のパトロール ・見守りで、地域のおじいちゃん、おばあちゃんがサポートできればいいな 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のおじいちゃん、おばあちゃん、防災会？民生委員？ ・毎日やるのはしんどいので、かわりばんこにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と警察に相談してみる ・ほかの地域がどうしているのか聞いてみる
③こども・安全・安心	4	校区全体であらゆる人に情報共有(一元化)	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAも廃止、こども会もなくなったため、こどもに関する情報を共有できるようにする ・高齢者に頼りすぎず、子育て世代も活動できる関係づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会にデジタル担当をつくる ・高齢者とこどもが顔を合わせられる場所づくりを行う ・情報共有ツールの電子化 ・情報をみんなで教えあう ・校区全体の情報発信のデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代がSNSの勉強会を開いて、高齢の方に教える 	<ul style="list-style-type: none"> ・市に地域のデジタル推進のサポートをもらう

ワークショップのような話し合いの場をうまく活用しつつ、引き続き、よりよい活動づくりや新たな場づくりなどに繋げていきましょう！

各回まとめ

第1-3回ワークショップのまとめ

太田地区の魅力をもっと高めていく 地域活動のあり方を考えよう！

- ・ 地域で活動する人の横のつながりをつくる
- ・ 自分の住む地域の良いところを再認識し、前向きに太田地区のまちづくりに関わるきっかけになることを目指す

1

ワークショップ全3回の流れ

	各回のテーマ	各回の目的と実施内容
第1回	太田地区の魅力を話し合おう！	・ 地域の良いところを改めて共有し、良いところを更に伸ばしていくために、魅力と課題を話し合いました。
第2回	まちづくりの進め方を専門家と一緒に考えてみよう！	・ まちづくりや地域自治の専門家から話題提供してもらった後、テーマごとに分かれて、今後の取組アイデアを話し合いました。
第3回	アイデアの具体化&参加者みんなで意見交換！	・ 第1、2回で考えたアイデアを実現するための、方法やまちづくりの体制などについて話し合いました。

全3回のワークショップを通して、各組織の連携を促進していくこと、協議の場づくりを行うことを目的として実施しました。

2

第1回ワークショップのまとめ

太田校区の「魅力」と「課題」を出し合いました

ワーク1

太田地区の「魅力的なところ」や「課題」を教えてください



ワーク2

地域の「魅力」や「こうだったらいいな」ということをふまえて、

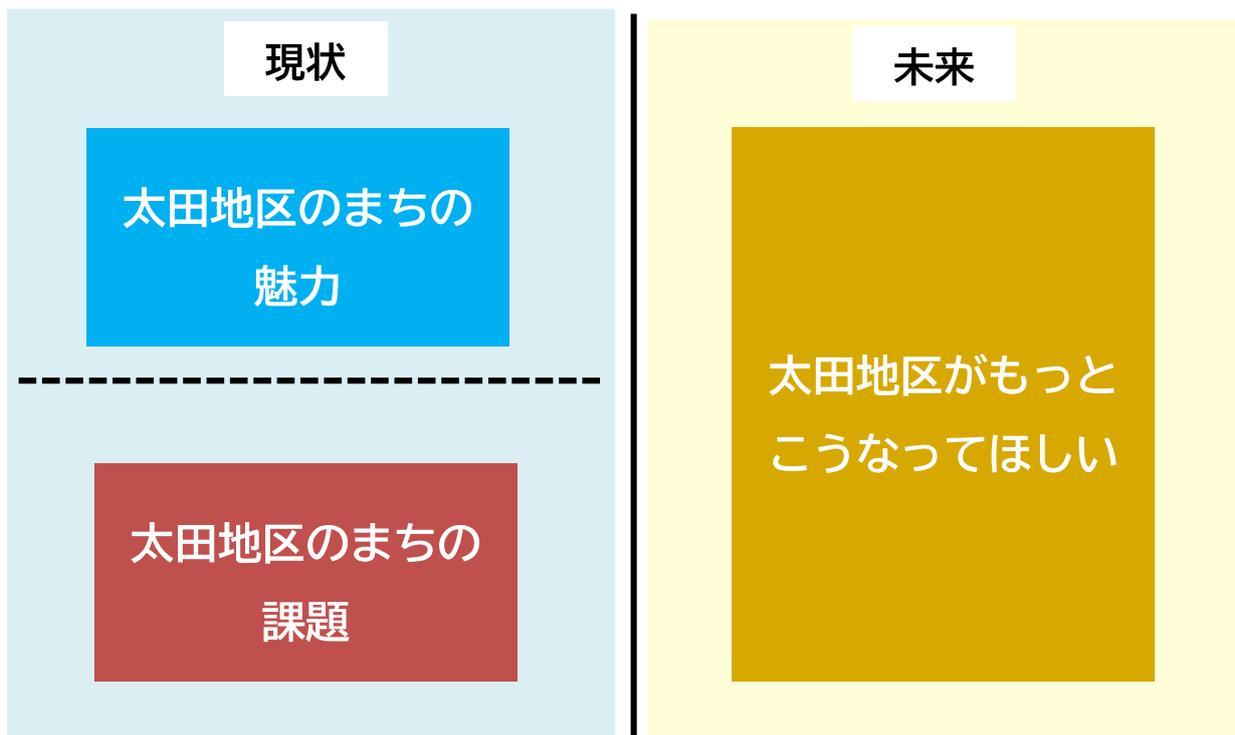
将来の太田は・・・

- ① 魅力を磨いて、もっとこうなってほしい
- ② もっとこんなことしたい
- ③ こうだったらいいやだな

3

第1回 ワークショップの意見

1 班



太田地区のまちの魅力

- 【地域活動】 班会をやって、いろんな意見を吸い上げていってる
- 【行事】 大掃除に参加する人が多い、大掃除と安否確認を兼ねている
- 【利便性】 イオン、大学ができた、買い物も便利
- 【子ども】 公園等もあり、スーパーも多く便利
- 【自然環境】 安威川リバーサイドランニングコース

-
- 【子ども】 子ども会に人が集まらない、2自治会合同だったりする
実は大人がつぶしてしまっているかも
PTAがなくなった
見守りの負担がある
 - 【地域活動】 IT化が遅れている、紙ばかり
 - 【安全・安心】 西河原交差点が混む、通行量が増えて危ないところも増えた

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【地域活動】 あいさつをきちんとする、声をかけあうことなどのやさしい気持ちが大事、それが防災、交流、見守りにもつながる運営の負担を軽減する、世話役をしなくてもいいよという形で募集
地域のIT化、回覧板をライングループでやりたい、賃貸の人や若い人に情報が届いていない
- 【安全・安心】 ボランティアの人のやりがいを大切に、ありがとうの色紙をわたすなど、敬老会ではやれている
コミュニティバスなどの高齢者の移動
- 【子ども】 子ども会に入りたい子どものためにあり方を考えたい、楽しく子どもたちを集めたい
子どもの集いの場、子どもが自由に集まれる場、学習の場としても
- 【集いの場】 身近で小さなイベントをできないか、公園で将棋など、小さいイベントだからこそ参加しやすい

太田地区のまちの魅力

- 【行事】 ふるさとまつり、大学祭、あいさつまつり、敬老会
- 【子ども】 公園が多い、スポーツ広場がある
- 【歴史】 太田神社、安楽寺のもちつき、地藏盆、西国街道、城下町
- 【利便性】 買い物など便利
- 【自然】 桜が綺麗、適度に自然が残る

-
- 【地域活動】 高齢化、人手不足で情報発信ができなくなっている
 - 【利便性】 商業施設が足りない
 - 【安全・安心】 近隣道路の渋滞
昔ながらの細い道が多い
 - 【子ども】 幼稚園の受け入れ人数が少ない

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【地域活動】 横のつながりを作って、地域活動の活性化をしたい
- 【自然】 東芝の桜並木を復活させたい
- 【世代間交流】 委員会の若返りも必要、自治会の再編・統合、若い人も住んできているので、各イベントの委員会の若返りをしたい
- 【集いの場】 若い人が気軽に発言できる環境に
保育園通わせてる世帯も気軽に地域（近所）とつながれる環境があるといい
- 【子ども】 就学前の子どもを育てるうえでの環境がもう少し充実してほしい
児童館がない
子どもが集まれる場が欲しい

太田地区のまちの魅力

- 【地域活動】 コミュニケーションが取れやすい
- 【安全・安心】 防災会、自治会がしっかりしている、犯罪者が少ない
- 【歴史】 西国街道、太田神社、紫式部の座った石など
太田知恵の和の活動
- 【利便性】 買い物が便利
- 【自然】 安威川が近く、程よく田舎

-
- 【地域活動】 会長の仕事が負担、自治会活動人手不足、人を集めるのが大変
 - 【安全・安心】 通学で朝は見守りをしているが、帰りは見守りが無い
道が狭く、車通りが多いところもあり、信号が無い通学路が心配
 - 【世代間交流】 若い人は考える時間すらない

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【地域活動】 みんなが無理ならやめることも考える、やり方をどんどん変えて、次の世代につなげていく
配布資料をラインなどの電子化できるといい
誰でもできるようなスリム化が必要
- 【つながり】 顔の見える関係が大事、それが前に進めることにつながる
- 【安全・安心】 通学路の標識があるといい
帰り道も見守り当番ができるといい、義務感でやるのではないようにしたい
通学路のトンネルをもっと明るくしてほしい
顔が見えないのは不安、つながりをつくりたい

7

太田地区のまちの魅力

- 【自然】 田んぼがあるなど自然が多い
- 【歴史】 藤原鎌足の墓がある、立派な門がある家がある
- 【利便性】 商業施設があつて買い物には困らない、人が増えた、学生街になった、ふるさとまつりで大学生などの若い人が多くなった

-
- 【子ども】 場所によって小学校が遠い、公園に時計がない、子どもに関わる団体が少ない、子ども会が休止状態
 - 【地域活動】 自治会役員の交代が激しい、高齢化、自治会の高齢化、自治会に加入してもらえない
 - 【集いの場】 コミュニケーションをとる場がない、飲み屋が少ない、集まれる場がない、高齢になった時が心配

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

- 【世代間交流】 近くでつながりを増やしていくと参加しやすい、輪番制のところと固定のところもありどっちがいいか、ハロウィンイベントを近所で企画中
デビューしやすいタイミングをつくるのが大事
- 【利便性】 住みやすいまちであり続けて欲しい、高齢者に優しいまち、子どもが出て行ってしまうので、子どもが残ってくれるようなまちに

太田地区のまちの魅力

【子ども】大学、高校ができて、雰囲気明るくなった、小さい子どもも意外と増えている、若い世帯が入ってきている

【利便性】商業施設ができて日常生活が便利になった

【地域活動】担い手不足、自治会の役員の不足

【世代間交流】年齢の壁がある

【子ども】PTAがないとボランティアの保険に入れない、PTAが任意団体で負担が大きい
 コロナ禍で活動が止まって打撃だった子ども会がなくなった
 子どもの遊び場がなくなっていく
 学校との協力関係が築きにくい

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

【世代間交流】昔は地区運動会などで世代間交流が多かった、小・中学校を巻き込んだお祭り、世代での価値観の違いを埋めたい
 ふれいあいのつどい、どんどやき、わいわいカーニバル

【地域活動】今のカタチにあった地域活動のスタイルにしたい、役員も一年交代など

太田地区のまちの魅力

【歴史】天皇陵、西国街道など

【施設】学校が多くて活気がある、文教施設、商業施設、医療福祉施設が備わっている、マンションや新しい分譲地もできて人が増える要素が多い、全体に環境が良く子育てしやすい

【地域活動】穏やかな人が多い、旧住民と新住民が仲良く生活できている

【世代間交流】新しく入ってくる若い世代と昔から住まれている方の地域活動に対する考え方のギャップ、高齢化による若い世代の負担感の増加、自治会内の高齢化が進み、何事にも反対意見が多い、隣人との関係希薄化

【利便性】ゴミ出しのマナー、路駐が多い、名神下のトンネルが暗い

太田地区のまちの課題

太田地区がもっとこうなってほしい

【つながり】地域の施設や事業所と今かかえている課題を話し合う場をつくりたい、将来につながる話し合いがしたい

【地域活動】地域行事をもっと活性化するため、やりたい！！やってほしい行事をアンケート調査
 公民館講座講習で若い人が参加したい項目を増やしたい
 部活動の指導者、教職員の負担軽減
 趣味や技術を活かせる場を増やしていきたい
 自治会の後継者を育成したい
 自治会不参加の方をできるだけ減らしたい
 お祭りはもっとすずしい時期に自治会活動のマニュアル化

【世代間交流】若い世代の世帯もある程度地域活動に理解を示せるような体制づくり
 高齢者と若い世代の交流できる場
 高齢者も若い人も、一緒に活動できるイベント等を企画したい

【安全・安心】防災に対する意識を高めたい

2回目以降に向けたテーマ設定

	魅力	課題	将来
活動への参加のしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・班会をやっているんな意見を吸い上げている ・大掃除に参加している ■イベント ・東芝撤退→ふるさと祭り@太田小学校 ・大学の学生（追大・藍大） ・あいさつまつり（夏祭り、冬のもちつき） ・敬老会@アイのホール 	<ul style="list-style-type: none"> ■IT化が遅れてる ・紙ばかり。ラインだけでも。 ■情報が届かない ・賃貸の人に情報届いてない ・知ってもらわないと参加してもらえない ■運営の負担・難しさ ・高齢化（地域によって差がある） ・隣組の高齢化 ・情報伝達ができなくなっている ・活動の準備の際の人手不足 ・若い人が加入しない ・役員、会長の仕事の負担 ・個別ルールができてしまって難しい面ある 	<ul style="list-style-type: none"> ■やさしい気持ち ・あいさつ、みんなが声をかけあうことから始めよう ■運営の負担を減らす ・世話をしなくてもよいという形で応募 ・自治会活動のマニュアル化 ■地域のIT化 ・回覧板もライングループでやりたい ・地区毎のツイッターアカウントとか ■やり方を変えていく ・会長は制度を変えられる！ ・自治会のやり方 どんどん変化させる 次の人のために ・例えば、みんなが無理ならやめるなど、誰でもできるようなスリム化が必要 ■小さなイベントを増やす ・身近に細かいイベントをできないか（ex. 地域で共有できる「コマまわしの会」） ・公園で将棋とか →小さいイベントだからこそ参加しやすい
つながり・集いの場		<ul style="list-style-type: none"> ■コミュニケーションをとる場が少ない ・集まれる場所が少ない ・ちょっと立ち寄れるよう場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■コミュニティ・つながり ・若い人が気軽に発言できる環境に！！ ・保育園通わせてる世帯も気軽に地域（近所）とつながれる環境 ・横のつながりを作って、地域活動の活性化 ・顔の見える関係を作りたい ■事業者等との連携 ・地域の施設や事業所と今かかえている課題を話し合う場をつくりたい。将来につながる話し合いがしたい

考えるテーマ① 地域活動・集いの場・つながり・顔の見える関係

「地域でつながりを持ち続けるには、どんな仕組みがあればいいだろう？」

話し合いのポイント

- ・町内での日頃の関係性づくりでできることは？
- ・コミュニケーションを取る場はどんな？
- ・参加のしやすいイベントづくり

11

2回目以降に向けたテーマ設定

	魅力	課題	将来
世代交代・世代間交流		<ul style="list-style-type: none"> ■年齢の壁（高齢の方でも地域に貢献したいけど・・・） ■世代のギャップ ・新しく入って来る若い世代と昔から住んでいる人の地域活動に対する考え方のギャップ ・会長をおりてくれない人もいる・・・ ・高齢化による若い世代の負担の増加 ・高齢化が進んでいる ・自治会内の高齢化が進み、何事にも反対意見が多い ・隣人との関係希薄化（淡白） ・地区の行事を実行するのに担い手が極端に少ない ・高齢化してきている→高齢単独世帯が増加している ・地域活動に対して参加者が減少している。単独世代 ・若い世代は、考えたくても考えてる時間すらない・・・ 	<ul style="list-style-type: none"> ■世代交代 ・少し強引にでも役を変えていかないと・・・ ・近くでのつながりを増やしていくと参加しやすい ・輪番制のところが固定のところどっちがいい ・ハロウィンイベントを近所で企画 ・若い世代もある程度、地域活動に理解を示せるような体制づくり ・委員会の若返り ・自治会の再編・統合（地域によって人が減ってきてる） ・若い人も住んできてるので、各イベントの委員会の若返りを！！ ・デビューしやすいタイミングをつくる ■世代間交流 ・世代での価値観の違いを埋められるような、高齢者も若い人も一緒に活動できるイベント等を企画したい
施設・環境・歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ■利便性の高いまち ・買い物、大学 ■歴史（御陵、安楽寺、地藏盆） ■太田知恵の和 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店が少なくなった ・街灯が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■住みやすいまちでありつづけてほしい ・高齢者にも優しいまち ・子どもたちが残ってくれるようなまちに ・自立出来る住環境の構築 ・低汚染地域化 自然との共存

考えるテーマ② 世代間交流・住みやすい地域

「若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは？」

話し合いのポイント

- ・世代間のギャップはどんなところ？
- ・若い人が地域に求めていることは？
- ・参加しやすい時間帯、工夫、仕組みは？

12

2回目以降に向けたテーマ設定

	魅力	課題	将来
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ■子育てしやすいまち ■公園・子どもの遊び場 ・公園が多い ・太田橋付近三角公園 ・(ソフトボール、サッカー) スポーツ広場がある ■子ども・教育環境 ・大学 追手門 藍野 ・イオン、大学ができ、街が明るくなっている ・子どもが多い ・子ども会でソフトボールチーム 	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども会に人が集まらない ・子どもの数が少なく、子ども会が2自治会合同だったりする ・実は大人がつぶしてしまっているかも？ ■子ども関係 ・小学校、中学校が古くて汚い ・場所によっては小学校が遠い ・小学校のPTAがない ・子どもに関わる団体が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども会に入りたい子どものために ・キックベースの子どもを集める 回覧をしたい ・子ども会に楽しく集めたい ■子どもの集い場の運営 ・子どもが自由に集まれる場 ・学習の場としても ・それをサポートするボランティア ■子ども ・就学前の子どもを育てるうえの環境がもう少し充実してほしい ・児童館がない、子どもが集まれる場が欲しい
安全・安心 (交通・防災)	<ul style="list-style-type: none"> ■治安の良さ ・おだやかで安心して暮らせる ・防災会、自治会がしっかりしている ・犯罪者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■通学路の交通 ・道が広がった分、通行量が多く、スピードも上がった ・通学路の見守り体制、負担 ■高齢者の交通 ・高齢者の移動(コミュニティバス) ・近鉄バス路線が外れ、不便 ■防犯 ・昔からの細い道で死角が多い ・地域によって空き家も多い ・真っ黒な道が多く、泥棒も入ったらしい ・詐欺被害もある 	<ul style="list-style-type: none"> ■通学路の安全 ・ボランティアの人のやりがい ・ありがとうの色紙をわたす ・敬老会ではやれてる ■子どもの安全 ・昔はPTAで見守りをしていた ・通学路の色のついたラインや、標識があるといいな ・帰り道も昔は当番で旗を持って立っていた ・トンネルもっと明るく ・小学校の見守りを、保護者と地域の先輩(高齢者)の方と連携して一緒にできればいい ■防犯 ・防犯カメラの設置 ・ごみの盗難の防止

考えるテーマ③ 子ども・安全・安心

「子どもたちがのびのびと育ち、安全安心に暮らすためにできることは？」

話し合いの
ポイント

- ・子どもを対象に行っている取組・参加状況は？
- ・太田の資源を活かした取組は？
- ・通学路の安全性を高めるためには？

第2回ワークショップのまとめ

太田地区のまちづくりアイデア を出し合いました

ワーク1

テーマごとに前回出た意見を振り返ろう！

①地域活動・つながり・集いの場

②若い世代・世代間交流・住環境

③子ども・安全・安心

講演

テーマに関する話や他自治体の事例紹介

- ・地域活動を前向きに楽しくやっていくには？
- ・忙しい若い層とのかかわり方は？

ピラミッド型組織

ネットワーク型組織



ワーク2

講演や事例紹介を踏まえて、
いいな！やってみたい！
できそう！と
思ったアイデアを話し合おう

14

第2回ワークショップのまとめ

3つのテーマ

①地域活動・つながり・集いの場

～地域でつながりを持ち続けるには、どんな仕組みがあればいいだろう？～

②若い世代・世代間交流・住環境

～若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは？～

③子ども・安全・安心

～子どもたちがのびのびと育ち、安全安心に暮らすためにできることは？～

【やりたいこと】

1. 若い人の意見を聞く場、話し合いを生む仕掛けをつくりたい
2. 事業を上手く持続するための仕組みをつくりたい

【アイデアの種】

1. 若い人の意見を聞く、話し合いの機会を生む仕掛け

○こどもが集まれる機会、親子で参加できる場！

- ・ハロウィンイベントで地蔵盆に合わせてお菓子をもらえる、提灯で飾り付けする
- ・参加しやすい工夫として、食べ物、ゲームなどを組み合わせる
- ・ふれあいの集いの復活

2. 事業を継続させるための仕組み・工夫

○活動の事業化

○お金を発生させる仕組みづくり

- ・古墳でキャンプ！

- ・お金を払ってでも参加してくれるサービス（有償ボランティア、備品のレンタル等）

○ニーズと活動とのマッチング

○民間事業者との連携

○高齢者への生活支援サービスを、地域の人がセミプロ集団として取り組む

16

【やりたいこと】

1. 様々な立場の人が集まり、課題や問題点を出し合い、解決法を考える場
2. 気軽につながれる機会の創出

【アイデアの種】

1. 課題解決を考える場を設定したい！

○様々な立場の人が集まり、課題や問題点を出し合い、解決法を考える場

○自己実現につながるような、自分の趣味や特技を生かせる場

○場／組織の在り方

- ・ネットワーク型は難しく、活動の核となるまとめ役は必要では
- ・外から自然発生的に、人が参加してくれるような形

○やりたいことの実現

- ・物(農作物・工業製品)などを作るコミュニティ組織
- ・音楽祭

2. 気軽につながる場や機会をつくろう！

○既存の活動に合わせたつながる機会

- ・読書ルームを作る
- ・ラジオ体操の時間をずらす（8時～30分間、場所は公園など）
- ・集会所で世代間、地域間の交流
- ・あいさつ運動（12月・8月）

○いろんな分野のバザー的な商品交換会

- ・ex. キャンプ、スポーツ、音楽

【やりたいこと】

1. 若い世代がゆるく参加できるコミュニティであってほしい
2. 世代間の意識や価値観をときほぐしたい
3. ネットワーク型組織の良いところを取り入れてみたい

【アイデアの種】

1. 若い人と地域がつながるきっかけを生む場を大事にしよう！
 - 既存の活動をもっと活用して参加しやすくするための情報発信や仕組み
 - ・清掃活動
 - ・るんびに広場（子育て支援、一時預かりの場）
 - ・マンションの子育てサークル
2. 世代間の意識や価値観を知る機会をつくろう！
 - アンケート調査の実施
 - ・世代間の意識の違いを把握する（子育て世代や高齢世代の違いなど）
3. ネットワーク型組織の導入を考えよう！
 - LINEのオープンチャットの活用
 - ・LINEだと、上下関係なくフラットに話し合えるので、意見を出しやすい
 - やりたいことの部活化

18

【やりたいこと】

1. 部活型でやりたい人が積極的に活動をしてみたい
2. 地域内や世代間で顔見知りになれるきっかけ・機会を増やしていきたい

【アイデアの種】

1. 新しい部活型の活動をやってみる
 - ・地域の特性を活かした田植え、畑、フリマ
 - ・公園・広場がたくさんある
 - ・みんながやりたいことを把握するためのアンケート調査をする
 - ・活動に対して有志を募る
2. 今ある活動を参加しやすくする工夫をしよう！
 - こどもなど若い世代も参加しやすくして世代間交流を促す
 - ・お菓子教室：予約を平日朝以外にも気軽にできるようにする
 - ・工作イベント：趣旨を変えてこどもも参加できるようにする
 - ・竹馬や将棋などの昔遊び
 - 活動の負担の軽減
 - ・やらないといけないこと（地域の清掃など）はライトに参加できるようにしたい
 - ・執行部とそれ以外の班を作って会長のプレッシャーを減らせないか

19

【やりたいこと】

- 見守り活動は大事なので維持しつつ、負担を減らしていきたい
- こどもがのびのびとできる、遊び場の環境を考えていきたい

【アイデアの種】

1. 見守り活動の見直し

- 見守りの負担軽減
 - ・シルバー人材さんへの委託
- 見守りが必要なポイントの洗い出し
 - ・通学路に危ないポイントがある（坂道やショートカットの細い道などが危険）
 - ・危ないポイントを洗い出して、重点的な対応をしてはどうか

2. こどもの遊び場の使いこなし

- 遊べる場に関する情報発信
 - ・太田東芝公園
- マンションの人との協力
 - ・マンションの公園やキッズルームを使わせてもらう（知り合いがいたときに使わせてもらっていた）

通学路をみんなで歩いて
危険のチェックをするなど！

20

【やりたいこと】

- こどもに関する活動やスポーツを、親の負担によらずに誰でも参加できるようにしたい
- ごみ問題や移動手段の問題からすこしでも良くして、安全安心なまちにしたい

【アイデアの種】

1. こどもの活動をもっと参加しやすくしよう

- こども会に参加していない人でも、誰でも参加できるようなイベント
- スポーツ
 - ・気軽に参加できるスポーツ活動の推進（親の負担なくこどもが参加できるような）
 - ・親の手伝い無しでやりたいこどもが参加できる仕組み
- こどもが気軽に出入りや活動ができる場（公民館のコミセン化など）
- 大学生の参画（大学生との連携による、こどもサークルをつくる）
- こどもの見守りの体制づくり（シルバー人材の活用やスクールバスの巡回など）

2. 安全で安心できる地域づくり

- ごみ問題（大型ごみの盗難や外国人の不法投棄）の改善
 - ・マナー違反の是正（ルールの見直しやカメラの設置など）
- 移動手段
 - ・コミュニティバスやスクールバスで、こどもや高齢者の移動の安全確保
- 連合自治会未加入者へも防災等に関する情報発信

意見を見ていくと・・・

【キーワードの抜粋】

- 話し合いを生む仕掛け
- 課題解決を考える場
- 気軽につながれる機会
- ゆるく参加できるコミュニティ
- 地域内や世代間で顔見知りになれるきっかけ・機会

語り合い、つながれる、対話の場

= “まさに今日のような対話の場” が大事！

第3回ワークショップのまとめ

太田地区のアイデアを実現するための方法や体制を話し合いました

ワーク1

前回出たアイデアをふまえてつづいて具体的にしていってアイデアを考えよう！

①地域活動・つながり・集いの場

②若い世代・世代間交流・住環境

③子ども・安全・安心

ワーク2

アイデアを実現するためのワークシートをつくろう

〇班	
タイトル	
活動の目的 (既存取組) 取組のよいところ / 課題 (新規取組) 資源のいいところ / もったいないところ	
具体的な内容 (やること)	
誰がやる?	
最初の一步 (何からはじめる?いつから?)	
スケジュール (いつ、どのように進めるか)	
参加した皆さんからのメッセージ	

23

	テーマ	現状の課題	取組名称
1班	①地域活動・つながり・集いの場	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会に入りたい人は多いが、自治会に入らないと子ども会に入れない ・自治会の閉鎖性 ・子どもの習いごとの選択肢が少ない ・住民のニーズにあった取組を考えていきたい ・子どもを通じた繋がりづくりの取組が必要 →子どもをテーマにした活動をきっかけにコミュニケーションを生んで、つながりを作っていきたい 	地域の人で子どもの習い事をみる 地域全体で楽しめる地蔵盆 ~子どもがウロウロできる夜があってもいいんじゃない?~
2班		<ul style="list-style-type: none"> ・地元愛を持って地域に関わる人を増やしたい ・顔見知りの関係を増やしたい ・地域の関りや横のつながりを増やしていきたい 	バトンをつなぐ ~地元が好っきゃねん~
3班	②若い世代・世代間交流・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯（特に未就学児の保護者）が情報を得る場所がない ・塾とか、クリニックとか、良いところがないか知りたい ・新しく住み始めた人が、どんな活動があるのかわからない。地域活動の役員になって初めて、地域のことがわかった。 	情報のプラットフォーム
4班		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで、特に若い世代などの率直な意見を聞きたい ・今の活動がニーズに合っているのか疑問 ・今は閉塞感を感じている ・自治会行事は毎年同じ…… ・楽しく活動ができるアイデアが欲しい 	太田地区としてみんながやりたいことを知るためのアンケート実施
5班	③子ども・安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがのびのび遊べる、遊び場を増やしたい ・遊び場には見守りの目が必要で、誰が担うのが課題 	子どもの遊び場を作ろう 子どもたちの安全確保！
6班		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と子どもが顔を合わされる場所づくりをして、見守りや安全に繋げたい ・未就学児の保護者は小学校に行くまで情報が伝わりにくい ・小学校区にある習い事の情報を知りたい ・PTAも廃止、子ども会もなくなったので、なかなか情報が共有されていない ・高齢者向けの情報の回覧はあるけれど、子ども向けの情報は無い ・他の自治会や校区全体の情報共有がされていない 	①校区全体であらゆる人に情報共有 ②校区全体の情報発信のデジタル化 ③子どもと高齢者が“ゆるく”つながる企画

24

テーマ： ①地域活動・つながり・集いの場	
①取組名称 (プロジェクト名称)	地域の人でこどもの習い事をみる
②活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でこどもを育てる ・どこのこどもにも来てもらえるようにする ・習い事の実選択肢を増やす
③具体的な内容 (やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・手頃な価格で習い事ができるように工夫する 例) 茶道や囲碁など
④誰が(誰と連携して) やる?	<ul style="list-style-type: none"> ・有償ボランティアで人材確保 ・大学生などもシフトを組んで参加してもらう
⑤最初の一步	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは地域人材・スキルの発掘のためのアンケート
⑥スケジュール	

25

テーマ： ①地域活動・つながり・集いの場	
①取組名称 (プロジェクト名称)	地域全体で楽しめる地蔵盆 ～こどもがウロウロできる夜があってもいいんじゃない?～
②活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・どこのこどもたちにも来てもらえるようにする ・こどもを通じた繋がりづくりの取組を行う
③具体的な内容 (やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・地蔵盆を地域のこども達に開放する ・自転車でこども達があちこち巡れるように地蔵盆マップを作成する ・夜の映画会の実施
④誰が(誰と連携して) やる?	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の協賛や自治会の予算を活用し、全体で協力してやっていく
⑤最初の一步	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは来年からやってみる
⑥スケジュール	

テーマ： ①地域活動・つながり・集いの場	
①取組名称 (プロジェクト名称)	バトンをつなぐ～地元が好っきゃねん～
②活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元顔見知りを作ること ・ 最終的には地域のために、地域への恩返し
③具体的な内容 (やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちでワークショップのような対話の場を作る ・ あいさつ運動がコミュニケーションの場になっているので継続する ・ イベントを継続する周知が大事。周知を工夫して面白いと感じさせ、参加したくなるようにする ・ 地域活動にメリットを！ ・ そうして新しい人を入れる
④誰が(誰と連携して)やる？	・ まず動ける自分たちからやる！
⑤最初の一步	・ まずは来てもらえるように周知から行う
⑥スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ずつ種をまく ・ すぐではなく、できることから少しずつ
⑦キャッチフレーズ	ちょっと素敵な明日を 少し続けて幸せになる

27

テーマ： ②若い世代・世代間交流・住環境	
①取組名称 (プロジェクト名称)	情報のプラットフォーム
②活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世帯が情報を得る場所をつくる ・ 新規住民が地域活動に参画するきっかけをつくる ・ 地域の情報をアーカイブ化する
③具体的な内容 (やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板のアーカイブ化 (PDF化していつでも見れるようにする) ・ 地域の広報誌の作成 ・ SNSを使った情報発信 →文化展の様子を発信 ・ こども達が高齢者に教えるSNS勉強会の開催
④誰が(誰と連携して)やる？	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウィキペディア方式(みんなで編集できる) ・ SNSはこどもが得意 →学校の部活などに運営を依頼してみる
⑤最初の一步	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほかの地域も参考にできるかも ・ 小・中学生がアシスタントすることでSNS勉強会をしてみる →世代間交流になる ・ ハッシュタグを作って、みんなで情報共有
⑥スケジュール	

テーマ： ②若い世代・世代間交流・住環境	
①取組名称 (プロジェクト名称)	太田地区としてみんながやりたいことを知るためのアンケート実施
②活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・今の活動がニーズに合っているのかという疑問もあるので、いろんな世代のニーズを把握する ・地域活動の人材発掘（イベントの柱になる人、サポートできる人） ・楽しく活動ができるアイデアが欲しい
③具体的な内容 (やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの取り方が大切・文面の工夫が必要 ・ラインで情報を流してもらったりする ・やりたいことを募集する方法 ・アンケートだけでは趣旨が伝わりにくいため、アンケートだけではなく、語り場の機会を設ける
④誰が（誰と連携して）やる？	<ul style="list-style-type: none"> ・連合全体として知っておきたいので、アンケートのまとめ作業を連合でやってはどうか。 ・結果をみんなで議論 ・やりたい、応援したい人が集まったらスタート！
⑤最初の一步	<ul style="list-style-type: none"> ・四月の連合会で発議、ミニワークショップ ・冬の間準備を進める
⑥スケジュール	

29

テーマ： ③こども・安全・安心	
①取組名称 (プロジェクト名称)	こどもの遊び場を作ろう
②活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが思いっきり遊べる場所を作る ・こども達の通学時の安全を確保する
③具体的な内容 (やること)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校庭の開放 →さくらクラブで校庭を使うクラブを立ち上げる →開放している時間だけ、警察のパトロール ・お散歩パトロール
④誰が（誰と連携して）やる？	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のおじいちゃん、おばあちゃん ・防災会、民生委員 →毎日やるのはしんどいから、かわりばんこ
⑤最初の一步	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と警察に相談してみる ・ほかの地域がどうしているのか聞いてみる ・お散歩パトロールのベスト作成 ・回覧板で参加者を募集
⑥スケジュール	

テーマ： ③こども・安全・安心	
①取組名称 (プロジェクト名称)	①校区全体であらゆる人に情報共有 ②校区全体の情報発信のデジタル化 ③こどもと高齢者が“ゆるく”つながる企画
②活動の目的	・PTAも廃止、こども会もなくなったため、他の自治会や校区全体の活動や、こどもに関する情報を共有できるようにする ・地域とこどものつながりが弱くなっているため、まずはこどもをきっかけにつなぎをつくる ・高齢者に頼りすぎず、こそだて世代も活動できる関係づくりをする
③具体的な内容 (やること)	・自治会にデジタル担当をつくる ・情報共有ツールの電子化 ・情報をみんなで教えあう ・SNSを利用した校区の情報のデジタル化 ・昔遊びをきっかけにして、高齢者とこどもが顔を合わせられる場所づくり ・大学のバスに広告を出してもらおう
④誰が(誰と連携して)やる?	・子育て世帯を中心に、こども会を軸としたコミュニティづくり→太田地区広域でこども会をつくる ・こそだて世代がSNSの勉強会を開いて高齢者の方に教える
⑤最初の一步	・市にサポートしてもらいながら取り組んでいきたい ・いばライフのアプリを活用したい
⑥スケジュール	

31

ワークショップを経て、これから

今後の方向性について

アイデア① 対話の場づくり

- ・ワークショップでの意見交換を通して、「ゆるいつながり」や、語り合う「対話の場」を大事にしようという意見が多く出てきた。
- ・世代間での壁があり、顔見知りになれるきっかけも大事だという声があった。
- ・今後も、ワークショップのような対話の場を持ち、世代間で連携もしながら、楽しく地域づくりに取り組むことを目指す。

アイデア② やりたいことアンケート

- ・世代間の意識の違いや、みんながやりたいことを把握し、今後の地域活動につなげていくためのアンケートを実施する
(自治会連合会が主体となって、)
- ・部活型でやりたい人がやりたい活動ができるようにする

アイデア③ デジタルを活用した情報発信

- ・地域の情報を集約した情報のプラットフォームをつくる。
- ・地域の情報を周知しやすく、アクセスしやすくできるように、(自治会を中心に)検討を進める。
- ・若者がアクセスしやすいSNSやWEBを活用した仕組みづくりを検討
- ・子育て世代・こどもが高齢者向けのSNS勉強会を開く

やりたい人が
やりたい活動
に取り組む

アイデア例：
地域全体で楽しむ地蔵盆

アイデア例：
小学校の放課後の校庭開放

